



明治の人々は「江戸」を
どう見つめたのか



CHIYODA NO ŌOKU

時代への
まなざし

千代田の大奥

千代田区立日比谷図書館文化館 企画展



2025年
10月1日[水]▶
11月9日[日]

千代田区立日比谷図書館 1階 特別展示室

開室時間／10時～19時（金曜10時～20時、日曜・祝日10時～17時）〔入室は閉室の30分前まで〕

観覧料／一般500円、大学・高校生300円 休館日／10月20日（月）

（千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料）

※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。

○主催／千代田区、千代田区教育委員会 ○共催／千代田区立日比谷図書館文化館

千代田区立
日比谷図書館文化館
Hibiya Library & Museum



千代田の大奥

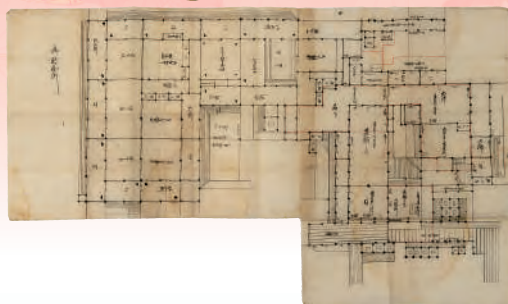
CHYODA NO ŌOKU

時代へのまなざし

明治27年（1894）から同29年にかけて刊行された浮世絵「千代田の大奥」は、浮世絵師楊洲周延の画業を代表する作品の一つです。周延が「千代田の大奥」を描いた明治20年代、人々の間には江戸時代を懐古するムードが沸き起こっていました。周延もまたその一人として「江戸」を振り返り、作品として残しました。

本展では「千代田の大奥」を中心に、明治の人々が過ぎ去った「江戸」をどのように見つめていたのかをご紹介します。

江戸城大奥は千代田にあり。



○御対面所向地絵図（「江戸城本丸・西丸御殿建築図面」）



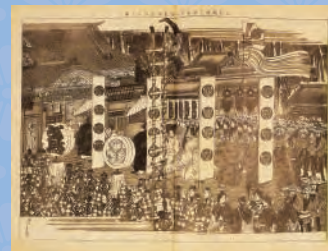
○楊洲周延画「蚕製糸繭献上図」



○楊洲周延画「千代田の御表 元旦正月諸侯登城桔梗下馬」



○市岡正一著「徳川盛世録」



○「江戸開府三百年祭上野東照宮社前之図」（『風俗画報』第9号）

展覧会関連イベント

1 担当学芸員による展示解説

日時 令和7年10月10日（金）
10月31日（金）
（各回18時より30分間）

会場 特別展示室

参加費 無料（事前申込不要）
※別途観覧料は必要です

2 関連講座

■「浮世絵師・楊洲周延が描いた「大奥」の世界

日時 令和7年10月13日（月・祝）14時～15時30分

会場 地下1階日比谷コンベンションホール（大ホール）

講師 村瀬 可奈氏（東京国立博物館研究員）

参加費 一般 1,000円（区民500円）

お申し込みはこちら▶



■「田沼時代の大奥 権力者 高岳」

日時 令和7年11月1日（土）14時～15時30分

会場 地下1階日比谷コンベンションホール（大ホール）

講師 畑 尚子氏（國學院大学・青山学院大学兼任講師）

参加費 一般 1,000円（区民500円）

お申し込みはこちら▶



【交通のご案内】

都営地下鉄●三田線「内幸町駅」A7 出口 / 徒歩 3 分
東京メトロ
●丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口 / 徒歩 3 分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口 / 徒歩 3 分
JR「新橋駅」日比谷口（SL 広場）徒歩 10 分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用下さい。

日比谷図書文化館 大奥

検索



※掲載資料は全て千代田区所蔵。ロゴに使用の葵紋は、「梨子地葵紋時経長持」（公益財団法人徳川記念財団蔵）より徳川記念財団作成。

千代田区立
日比谷図書文化館
Hibiya Library & Museum

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4
TEL：03-3502-3340(代表)
03-3502-3348(文化財事務室)